

編集後記

信濃川水系土地改良調査管理事務所に異動してきてから、早いものでもう一年半が経過いたしました。新潟を含め、北陸地方での勤務は初めてでしたので、やはり異動当初はどのくらい雪が積もるのか家庭でも話題になった記憶があります。特に、一昨年度は豪雪の年で、平地でも雪が多く公共交通機関等にも影響が出たと聞いていたので、妻は心配しておりましたが、その隣で雪遊びが待ち遠しいと言わんばかりに輝く息子の目が印象に残っております。

今冬は、例年に比較して非常に少雪で、1月中旬時点では例年の一割程度しか積もっていないということです。普段の生活では苦労させられることも多い雪ですが、河川協議（河川の流水を農業などに占用して利用する場合に行う、河川管理者との協議）といった河川の水利用にかかる調整の担当など、農業に関連した業務に携わる身としては、少雪により春先の雪解け水が少なくなるのではないかと考えると、心配のほうが大きくなります。

水稻はもちろん、これからの園芸作物導入促進を支える上で、多くの河川が重要な水源となっておりますので、関係者の方々と相談させていただきながら、新潟の農業振興を支えられるよう、引き続き業務に取り組んでまいりたいと思います。（企画課 〇）



平成 30 年度



令和 元 年度

関川右岸幹線用水路（1月：妙高市）



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

北陸農政局

信濃川水系土地改良調査管理事務所

〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目49番地3

電話(025)231-5141(代) FAX(025)231-6986

ホームページ:<http://www.maff.go.jp/hokuriku/>

事務所までの案内

